

ウィーブ

# Weave

～誰もが輝く社会を実現するために～

問合せ 企画政策課 313

## 自分の好きなことを仕事にする「創業」という働き方

コロナ禍で新しい暮らし方が広がり、働き方も多様性を増しています。自分自身で仕事をつくり出す「創業」も選択肢の1つ。会社やお店を持ったり自分のライフスタイルに合わせて仕事をしたり、「創業」のカタチもさまざまです。羽村市では、市内で事業を始めようとする方や、始めて間もない方を支援する創業支援を行っています。今回のWeaveは、市内で創業した女性を紹介します。  
(2月19日に開催された羽村市創業支援セミナー&パネルディスカッション取材しました)



南 はる香さん  
ウクレレ教室「ホヌレレ」(羽村市双葉町)オーナー。令和元年ウクレレ教室開業、令和2年度羽村市創業支援補助金採択

## 夫の一言からウクレレ教室をスタート

もともと音楽が好きで、20代の頃にアルバイトしていたお店のお客様にギター職人の方がいて、その方からウクレレをいただいたのが、ウクレレとの出会いでした。お店で演奏したり、友人が加わったり、みんなで楽しく演奏するのが好きでした。

しかし、30代の初めに身体を壊し、仕事の翌日は寝込むような状況になってしまいました。ウクレレは結婚しても続けていましたが、趣味でやっていただけでした。

そんな中、夫が突然「ウクレレ教室をやったらいいよ!」と言い出しました。地方に出張に行った時に、生き生きとウクレレ教室を行っている女性を見つけ、その姿に刺激を受けたようでした。



▲ウクレレ教室での南さん。生徒さんとの演奏がとても楽しいとのこと。

それまで、教室を開くことはイメージしていなかったのですが、人と一緒に演奏することが好きだったので、夫の言葉に乗せられ、軽い気持ちで教室を始めようことにしました。

## 産業祭で創業支援コーディネーターと出会う

教室を始めたのは2年前。小遣い程度でも稼げれば…と始めたものの、なかなか生徒が集まらない状況が続きました。このまま続けて大丈夫なのか、お客さんを増やすためにホームページを作るなどした方が良いのか、悩み始めた頃、遊びに行った羽村市の産業祭で、創業支援コーディネーターの松原さんと出会いました。

産業祭では、創業支援スペース「iサロン」のブースが出店していました。自分の事業が「創業」といえるかわかりませんが、相談に乗ってくれるというので立ち寄り、数週間後には流されるように「創業支援」を受けるようになりました。

## アイデアやアドバイスをもらい夢や目標に向かって一歩ずつ

好きなウクレレを仕事にしたものの、個人で始めたため、資金が十分にあるわけではなく、コロナ禍で生徒も思ったように集まらず、どこにどのようにお金をかけていけば良いかわからずにいました。

「iサロン」で松原さんに相談するようになり、今後ウクレレ教室をどうしていきたいのか、売上や税金、社会保険をどうしていくのかなど、それまで何となくしか考えていなかったことを、具体的に考えるようになりました。ホームページの開設や、新しいお客さんの目を引くための思い切った特典、安定的に経営するための料金設定など、アイデアを膨らませたり、それを実現するためのアドバイスを受け、



▲今もいろいろとお世話になっている創業支援コーディネーターの松原さんと。(撮影時のみマスクを外しました)

一つひとつクリアすることができました。市が行った電子決済のキャッシュバックキャンペーンも、メリットとデメリットを教わりながら参加しました。東京都や市の補助金があることも知り、補助金を活用してどのようなことを行うかといった計画や、申請書類の準備も松原さんに手伝ってもらいながら進めました。公的な支援は、一人で事業を始めた

## 「創業」という働き方を選んで正解 夢は100人ウクレレ大合奏

私にとっては、とても心強い存在です。事業がうまくいか不安もある中、アイデアやアドバイスをいただくだけでなく、補助金を活用した取組みなど、一人では考えられなかったことを実現できたと思います。

現在は、自宅でのウクレレ教室と、瑞穂町と立川市のカフェを借りたレッスンやライブイベントを行っています。自分で時間を決められるので、夫の仕事の都合や休みにも合わせやすく、家族の生活に支障はありません。ウクレレ教室を自宅で行っているので、日に日にウクレレグッズやハワイグッズが増えてはいますが(笑)。

今では、パートタイムで働いていた頃に比べて仕事の時間は短く、収入は増えました。いろいろな人とウクレレを演奏しながら、それが仕事にできていることが楽しいです。何よりも、そんな私を見て夫も喜んでくれていることが嬉しく、「創業」を選んで良かったと感じています。昔から、みんなで何かをすることが好きなので、今の夢は100人でウクレレ大合奏です。

## 市内で創業した女性に聞いてみました!

人と接することや料理を作ることが好きで、スポーツバーを開きました。

私にとって羽村市は、若い頃から遊び、成長してきた場所なので、今の若い人たちにとてもそんなまちにしたいという思いもあります。

お店に来てくださった方が地元を好きになってくれるよう、創業した当初の気持ちを持ち続けていくことが大切だと思っています。

中丸 歩美さん CAFÉ & BAR808 (羽村市五ノ神) オーナー



## 羽村市創業支援スペース「iサロン」

産業福祉センターに、創業に関心がある方、創業して間もない方、創業や仕事に関する情報が欲しい方が無料で利用できるスペースを開設しています。

パソコン作業ができるスペースなどがあり、創業支援コーディネーターの在室時は、無料で相談することができます。

一人ひとりの夢やアイデアの実現に向けて、寄り添い、一緒に考え、アドバイスをを行います。気軽にお越しください。

開館時間 午前9時～午後9時30分(月曜日休館)

所在地 羽村市緑ヶ丘2-11-1(産業福祉センター内)

※創業支援コーディネーターの在室日は、市公式サイトをご覧ください。相談は予約制です。

申込み・問合せ 産業振興課 商工観光係 ☎657

特に記載がない場合は受付時間は土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時です。費用の記載がない場合は無料。詳しくは、市公式サイトをご覧ください。